



広々として、リラックスできる雰囲気の治療室(右)
院内には超音波画像診断装置も設置し、骨折などの鑑別も可能です(上)



義 父の営む三浦整骨院で柔道整復師として働きながら事業継承を考える中、「より多くの方が来院しやすい環境にしたい」という思いから、場所が分かりやすく、車を止めやすい駐車場が確保できる現在の土地での新規起業を考えました。

その思いが、起業を決意するいちばん大きな動機となりましたが、ここ数年間、町内で起業した同世代の方々などの存在も刺激となり、「やってみよう」という気持ちの方がより強くなりました。

町内で開業してよかったと感じているのは、事業の継承を行いながら、老若男女問わず新しく整骨院を利用してくださる方が増えたところ。町内には整形外科の開業医がいませんが、けがをしてしまったときの駆け込み寺として、一役を担えているのだと実感しています。それと併せて、より適切な施術を提供していきけるよう、今後もより一層勉強していかなければいけないと思っています。

また、五城目町の乗合タクシー拠点施設として新規登録させていただいたことにより、運転に不安を抱える方や、運転免許証を持っていない方にも利用しやすい環境になり、本当に良かったと思っています。

今後は、地域医療を担う一員として、日ごろの業務であるけがの早期処置・早期回復に努めることはもちろんですが、予防医学にも積極的に取り組み、介護予防やけがの予防を広く呼びかけていけたらと思います。

そして、地域の皆さんがより笑顔になっていただけるような環境を作っていきたいと思っています。

より多くの方が
来院しやすい環境に



昨年5月に開院したくどう整骨院。国道285号沿いに位置し、敷地内には8台分の駐車場と駐輪スペースがあります。

住 五城目町上樋口字屋岸176
☎ 853・1185

くどう整骨院

工藤 寛之さん (35歳・樋口)

県内に1人しかいない「フット&ボディ バランス アジャスター」の資格を持つ工藤さん。予防医学の観点から、1人ひとりの足の形状に合わせたインソール(靴の中敷き)の作成も行っており、町内外から、スポーツ選手などの来院もあるそうです。



自宅に事務所を設立した伊藤さん。主に、電気設備の設計図や施工図の作成などを手掛けています。



起業に町の支援を活用

今年度、町の補助金を活用し、伊藤勝彦さん(電気設備工事の施工管理などを行う個人事務所を設立)、工藤寛之さん(整骨院を開業)、伊藤詩穂さん(学習塾を運営)の3人の方が起業しました。

今月号では、そのうちの2人をご紹介します。

両親の手助けをしながら
生まれ育った町の力になりたい

私 は、生まれ育った実家を拠点として、電気設備工事の設計図・施工図の作成や、電気工事会社からの依頼を受け、建物の電気工事の際の施工管理などを行っています。

昨年までは、仙台市の電気工事会社に勤めていましたが、両親が高齢になり、父親が運転免許証を返納したということもあって、両親の生活の手助けがしたいという思いで実家へ戻ることにしました。

そんな中、一般企業への再就職などを考えていましたが、自宅を拠点として、ある程度時間に融通の効く自営業という形態で働くことにしました。

そして、自宅へ新たに事務所を

設立しようと準備を進めている際に五城目町の友人と会い、「起業する人に対しての町の補助金がある」という話を聞きました。その後、商工会や役場へ相談し、町からの起業の補助金もあり、昨年8月に事務所を開設しました。

こちらへ戻ってきて仕事をするようになってから、地域の方や顔見知りの方など、身近なつながりが生まれてきています。これからはもういったつながりやを広げ、より地域に密着した仕事ができればと思っています。

また、今まで培った知識や経験を生かし、少しでも生まれ育った町の力になればと思っています。小さなことでもぜひお声がけください。

イトー企画

伊藤 勝彦さん (61歳・大川)

イトー企画

昨年8月に開業。建物の電気設備の設計図作成や電気工事の施工管理などを行う。

住 五城目町大川大川
字御伊勢堂前26
☎ 090・7663・9122
✉ itou.katsuhiko@navy.plala.or.jp